

IV 足利市の教育目標設定の実際

1 教育目標設定経過の概要

目標設定準備研究期間（49、50年度）

- (1) 足利市教育目標設定準備委員会の発足
 - 主として、教育目標設定構想の立案をねらいとして発足
 - 足利市立教育研究所の調査研究活動の一つとして組織
 - 委員構成は、校長、教頭、教務主任、教諭、小・中学校、性別、年齢層等を配慮

- (2) 教育目標設定の必要性についての検討
 - 時代からの要請……… 社会情勢や教育の動向の変化、社会教育審議会並びに中央教育審議会の答申（昭和46年）
 - 教育現場や市民からの要請……… 学校教育、社会教育等の関係者や一般市民から新しい教育目標設定の要望
 - 足利市行政からの要請……… 地域住民の自主性をもって取り組む教育及び、教育全般を統合した長期教育計画実施への見通しの立案

- (3) 教育目標設定のための基礎研究
 - 「期待される人間像」の考察
 - 現代社会における人間資質の検討
 - 未来社会における人間資質の検討 等

- (4) 昭和29年設定の「足利市教育の一般目標」の検討
 - 「栃木県教育の一般目標」と類似。足利市の地域性が色濃く出された目標設定が必要
 - 教育課題小項目が抽象的表現の傾向。具現化の方策等を打ち出すことが必要
 - 一般目標の中で欠如していると思われる内容
 - ・ 「学び方を学ぶ」能力
 - ・ 創造性教育
 - ・ 情報処理能力
 - ・ 安全教育
 - ・ 環境教育
 - ・ 同和教育
 - ・ 特殊教育
 - ・ 幼児教育

- 高齢者問題
- 家庭教育が不十分
- 社会教育
- 郷土の歴史学習
- 青少年の校外生活

(5) 教育目標設定の基本的な構想の検討

① 目標設定の基本的態度の検討

- 市民の意識や実態を十分ふまえ、市民参加による目標設定
- 地域の生活課題に根ざした目標の設定
- 憲法、教育基本法、学校教育法、社会教育法等の法令にのっとった目標の設定
- 日本及び国際社会の課題に結びついた目標の設定
- 現在及び未来社会に対応できる目標の設定
- 先進地域の実践を生かした目標設定
- 生涯教育の立場に立った目標の設定
 - 乳幼児期から高齢期に至る年齢的な発達段階に即した教育の統合
 - 各種の教育機能の役割分担とその統合 等

② 教育目標設定計画案の検討

- 目標設定手順の検討
- 目標設定年次計画の検討（5か年計画）
- 調査についての検討
- 目標設定に関する予算化についての検討 等

③ 教育目標設定における留意点の検討

- 教育目標が単なるスローガンに終わらないように
- 教育目標の具現化のための方針及び手続きの明確化
- 家庭教育、学校教育、社会教育との接点についての十分な配慮
- 子供の将来を十分見通した上での目標設定
- 足利市民の長所、短所をふまえた目標設定
- 調査は、アンケートだけでなく、広く市民の意見を聴取
- 海外派遣者からも意見聴取
- 教育目標設定委員は、広く各界、各層の代表者からの人選
- 報告書は、広く市民に読まれるように配慮
- 目標設定の過程を大切に

IV 足利市の教育目標設定の実際

第1年次（51年度）

- (1) 足利市教育目標設定委員会の設置要綱及び組織づくり
 - 教育委員会事務局全体で組織的に検討を進めた。
- (2) 足利市教育目標設定の全体構想の検討
 - 目標設定準備委員会の成果に基づいて、指導者の指導を得た。
- (3) 各専門部会による研究計画立案と基礎研究

〔学校教育専門部会〕

- 今後予想される研究手順及びその方法について
- 各委員による「現代教育の問題点」の発表と討議
- 「現代教育の問題点」の中で「子供にみられる問題点」の検討
- 人生各期における発達課題の検討
 - ・ 乳幼児期, 児童期, 青年期における発達課題の検討



お茶の水女子大学教授 河野重男先生



東京工業大学助教授 新井郁男先生

〔市民としての教育専門部会〕

- 「市民としての教育目標」設定についての研究協議
- 「市民をどうとらえていくか。」についての協議により「市民」についての概念の確立
- 市民としての教育課題の検討
 - ・ 昭和29年設定の「足利市教育の一般目標」の教育課題小項目の検討

〔職業人としての教育専門部会〕

- 「職業人としての教育目標」設定への研究協議
 - ・ 職業観の確立と職業意識の高揚, 中高年齢者の職業教育等, 九つの内容についての検討
- 職業人としての目標行動分析一覧表の作成

〔 家庭人としての教育専門部会 〕

- 研究構想についての協議
 - ・ 家庭人としての役割や行動について
 - ・ 生涯教育における家庭人としての教育の観点について
- 人生各期における発達課題の研究協議とそのまとめ
 - ・ 乳幼児期, 児童期, 青年期, 壮年前期, 壮年後期, 高齢期における発達課題の検討
- 目標設定に当たって検討すべき参考文献の輪読と研究協議

第 2 年次 (5 2 年度)

- (1) 各専門部会代表による秋田県生涯教育推進パイロット市町村指定第 1 号 (昭和 46 年) 大曲市並びに, 秋田県生涯教育推進本部の現状等視察
- (2) 足利市民の生涯教育に対する願いや考え方を明らかにするための第 1 次調査の実施
 - 調査に対する部会の基本的な考え方の検討
 - 調査項目及び, 調査内容の検討
 - 調査方法の検討
 - 調査問題の作成
 - 足利市民 1 2,000 人 (世帯) を対象にした質問紙調査の実施
 - コンピューターによる調査結果の処理及び, 自由記述内容の整理

第 3 年次 (5 3 年度)

- (1) 第 1 次調査結果の分析とその考察
 - 調査結果の分析方法の検討
 - 調査結果のまとめとして, 「足利市民 1 万人の声」を刊行
- (2) 第 1 次調査結果の概要を「あしかがみ」並びに「栃木放送」で広報
- (3) 第 1 次調査の結果に基づき, 市民の



53・5・25 全体会議
第 1 次調査の結果報告

IV 足利市の教育目標設定の実際

教育に対する実態や要望等を明らかにするための第2次調査の実施

- 調査に対する部会の基本的な考え方及び、調査内容の検討
 - 調査結果の分析並びに、考察の方法についての検討
 - 調査項目の検討
 - 調査問題の作成
 - 教育関係者1,000人を対象にした質問紙調査の実施
 - コンピューターによる調査結果の処理及び、自由記述内容の整理
 - 調査結果のまとめとして、「足利市教育目標設定に関する第2次質問紙調査のまとめ」を刊行
- (4) 教育目標設定に関する公聴会及び、部会による面接調査の実施
- 第2次調査回答結果の考察をより深め、教育課題抽出のための参考資料とするために、教育関係の代表者(第2次調査対象者)から意見聴取
- (5) 第1次調査、第2次調査、公聴会、面接調査、一般教育課題等から、部会による「足利市の教育課題」の抽出
- 「足利市の教育課題」抽出のための基本的な考え方及び、方法についての検討
 - 一般教育課題の検討
 - 抽出した教育課題のまとめとして、「足利市で取り上げる教育課題」を刊行
- (6) 足利市の教育課題の概要を「あしかがみ」で広報
- (7) 生涯教育振興大会において、第1次調査、第2次調査結果の概要と目標設定の見通し等の発表及び、「足利市の教育課題」についての意見聴取
- (8) 足利市の教育課題を達成するための達成目標及び、教育目標の設定
- 教育課題達成のための達成目標及び教育目標の設定
 - 人間の発達の特徴や教育の適時性等から^{※1}発達期の検討
 - 主として目標の重要度についての意見聴取のため、面接調査の実施
 - 四専門部会で取り上げた教育目標、教育課題、達成目標のまとめとして、「足利市教育目標設定中間報告書」を刊行

※1

発達期:人間が成長していく過程の中には、それぞれの時期で達成されなければならない課題(発達課題)がある。その課題を達成するには、その時期でなければならない適期(教育の適時性)がある。この教育の適時性をふまえ、発達課題を達成する時期を発達期とした。

第4年次（54年度）

- (1) 「人生各期にわたる足利市の教育目標」（試案）の設定
 - 各専門部会で取り上げた教育目標，教育課題，達成目標を人生各期に位置づけるため，整理・統合する方法の検討
 - 目標の人生各期への位置づけと整理・統合作業及びその検討
 - 人生各期に位置づいた教育目標，教育課題，達成目標のまとめとして，中間発表会資料「市民参加による足利市の教育目標」（試案）を刊行
- (2) 足利市教育目標中間発表会の開催
 - 目標設定3か年の経過報告と「人生各期にわたる足利市の教育目標」（試案）の発表を市内5会場（西部…山前小学校，南部…御厨小学校，東部…毛野小学校，北部…北郷小学校，中央…市民会館）で，延べ1,000人の市民の参加のもとに実施
 - 「人生各期にわたる教育目標」（試案）に対する意見聴取のため，アンケートの実施
 - 中間発表会における意見聴取のまとめとして，「足利市教育目標中間発表会実施結果報告書」を刊行
- (3) 「人生各期にわたる教育目標」（試案）を「あしかがみ」並びに「栃木放送」で広報
- (4) 中間発表会における意見聴取事項を「人生各期にわたる教育目標」（試案）へ反映
- (5) 「足利市の教育目標」最終まとめの構想検討
 - 教育目標最終まとめの全体構想の検討
 - 達成目標の角度から人生各期にわたる教育目標の検討
 - 人生各期にわたる教育目標の解説作成構想の検討
 - 重点教育目標設定の基本的な考え方の検討
- (6) 人生各期にわたる教育目標，達成目標（試案）の検討と具体策の策定
 - 教育目標，達成目標（試案）の検討
 - 達成目標を達成するための具体策の策定作業

IV 足利市の教育目標設定の実態

- (7) 人生各期にわたる教育目標解説の作成
 - 教育目標を解説する観点についての検討
 - 教育目標解説の作成とその検討（35目標）
- (8) 人生各期にわたる教育目標の全体像についての検討
 - 教育目標の分離・統合の検討
 - 教育目標のくくり方の検討
- (9) 重点教育目標設定の必要性についての検討

第5年次（最終年度）

- (1) 重点教育目標の設定
 - 重点教育目標設定の全体構想の検討
 - 重点教育目標設定のための角度及び作業手順の検討
 - 各専門部会で強調する教育目標の抽出とその検討
 - 重点教育目標設定の参考資料を得るため、面接調査「意見を聴く会」並びに、市民3,000人からのアンケートによる意見聴取
 - 市民憲章、市行政の振興計画等の関連について検討
 - 目標設定委員会が設定した重点教育目標（試案）の検討
 - 重点教育目標の解説作成とその検討
- (2) 具体策及び教育機能連関の策定
 - 具体策及び教育機能連関の全体構想の検討
 - 具体策及び教育機能連関策定の角度や作業手順の検討
 - 足利市行政の施策や業務内容の調査
 - 具体策及び教育機能連関の策定
- (3) 重点教育目標設定のための面接調査「意見を聴く会」の実施
 - 意見を聴取する視点や方法、反映のさせ方等の検討
 - 学識経験者15人から意見聴取
 - 聴取内容のまとめとして、「足利市教育目標設定に関する意見を聴く会記録」を刊行

- (4) 市民参加による足利市の教育目標づくりの様子や、教育目標中間報告会の開催等について「あしかがみ」で広報
- (5) 足利市教育目標中間報告会の実施
 - 目標設定委員が所属する団体において、41団体で延べ約4,000人の参加のもとに実施
 - 目標設定経過並びに、中間発表会での市民の意見を反映した「人生各期にわたる教育目標」(試案)についての意見聴取
 - 重点教育目標設定のための参考資料を得るためにアンケートの実施
 - 中間報告会における意見聴取のまとめとして、「足利市教育目標中間報告会実施結果報告書」を刊行
- (6) 人生各期にわたる教育目標内容の柱とその構造についての検討
 - 教育目標及び達成目標の分離・統合についての最終総括検討
 - 教育目標内容の柱とその構造についての検討
- (7) 人生各期にわたる教育目標、達成目標、具体策、教育機能連関一覧及び、重点教育目標一覧(試案)の作成
- (8) 次年度以降の教育目標具現化構想の検討
- (9) 5か年にわたる足利市教育目標設定についての報告書の作成
 - 「足利市教育目標設定報告書」の作成
 - 「足利市教育目標設定報告書(資料編)」の作成
- (10) 生涯教育の立場に立ち、市民参加によって作り上げられた「足利市の教育目標」を足利市教育委員会へ答申
- (11) 「足利市の教育目標」の刊行
- (12) 足利市教育目標本発会の開催
 - 5か年にわたる目標設定経過と「足利市の教育目標」の発表
- (13) 「足利市の教育目標」について、目標設定委員所属団体への報告会の実施
 - 目標設定委員が所属する各団体に対し、「足利市の教育目標」について、目標設定委員による報告会の実施